

2021年1月29日

各位

会社名 株式会社タカラレーベン
 代表者名 代表取締役 島田 和一
 (コード番号 8897 東証第一部)
 問合せ先 社長室 長 鈴木 健介
 (TEL 03-6551-2130)

業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、本日開催の取締役会において、2020年9月14日に公表いたしました2021年3月期通期連結業績予想及び配当予想につきまして、下記の通り修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2021年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 136,800	百万円 6,000	百万円 5,000	百万円 3,400	円 銭 31.36
今回修正予想 (B)	141,900	7,300	6,200	4,100	37.76
増減額 (B-A)	5,100	1,300	1,200	700	
増減率 (%)	3.7	21.7	24.0	20.6	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	168,493	11,901	11,201	5,361	49.45

(2) 業績予想修正の理由

コア事業である新築分譲マンション事業においては、販売活動を自粛した期間もございましたが、再開後は感染防止対策を徹底し営業活動に取り組んでまいりました。コロナ禍において、お客様の住宅に求める要件に変化があったものの、購買意欲には大きな変化はみられておらず、モデルルームへのご来場者数も安定的に推移した結果、通期引渡予定戸数1,980戸に対し12月末時点の契約進捗率は103.0% (2,039戸) となり、当初計画を上回る見込みとなりました。

また、流動化事業においては、自社開発レジデンス物件等の売却が寄与し、第3四半期累計で当初計画を上回る利益を計上いたしました。

この結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が、いずれも前回発表予想を上回ることとなったため、通期連結業績予想を修正することといたしました。

2. 配当予想の修正について

(1) 2021年3月期配当予想

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想	円 銭 —		円 銭 —	円 銭 8.00	円 銭 12.00
今回修正予想				10.00	14.00
当期実績	—	4.00	—		
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	—	6.00	—	13.00	19.00

(2) 配当予想修正の理由

当社は利益還元を会社の最重要課題の一つとして位置付けており、事業展開と経営基盤の強化に必要な内部留保を確保しつつ、業績に応じた適正な配当を安定的かつ継続的に行うことと、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。また、2018年5月に策定した中期経営計画において、配当性向を25%~30%程度とすることを掲げております。

この度の業績予想の修正を踏まえ、上記方針に基づき、2021年3月期における期末配当予想を修正し、前回予想の1株当たり8円から2円増配し、10円とさせていただきます。

これにより、中間配当金(1株当たり4円)と合わせた年間配当金は1株当たり14円となり、配当性向は37.1%を予定しております。

以 上